

## 防除情報(病害虫情報 号外 第4号)

平成30年5月11日

### カキノヘタムシガの発生予想と防除について

- カキノヘタムシガはカキの芽や果実を加害する害虫で、神奈川県では通常、5月下旬～6月上旬及び7月中下旬の年2回成虫が発生します(図1)。
- 平年では5月下旬頃に発生する越冬成虫の誘殺が、本年は5月1半旬から確認され、平年よりも発生時期が早まっています。また、発生量も平年より多くなっています(図1)。これは昨年、第1世代成虫の発生量が多かったためと考えられます。
- カキノヘタムシガ第1世代幼虫の防除適期は越冬成虫のピークより7～14日後ですが、これは富有の開花盛期(開花率80%以上)から10日後とされており、平年では6月上中旬が目安になります。
- 本年はカキの開花盛期が平年よりも1週間～10日程度早い見込みです。さらに、カキノヘタムシガの発生時期も平年より早く、発生量も多いことなどから防除時期に注意が必要です。以上のことから、**本年の防除適期は平年より1週間～10日程度早く、5月中下旬**と考えられますので、適期に防除を行って下さい。

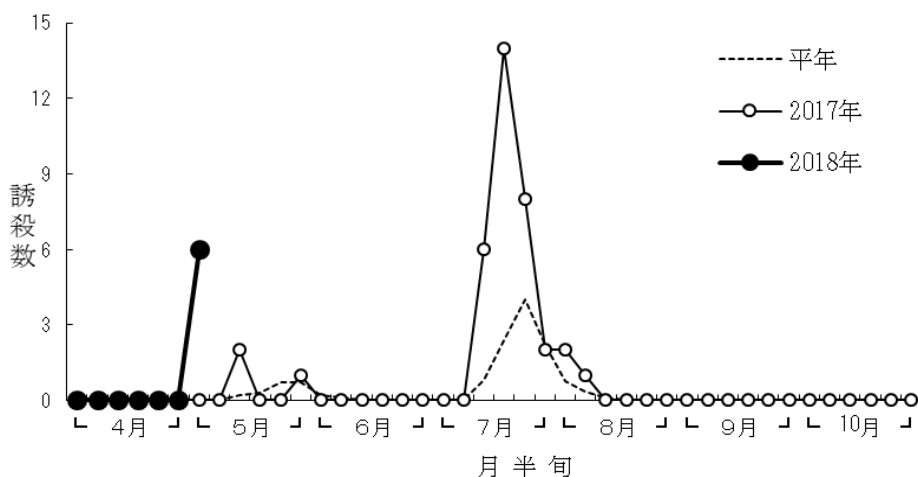


図1 カキノヘタムシガの発生消長

表1 主な防除薬剤

薬剤名	希釈倍率	使用時期, 回数
トクチオン水和剤	800倍	75日, 2回
スミチオン水和剤40	800～1,200倍	45日, 3回
ダントツ水溶剤	2,000～4,000倍	7日, 3回
バリアード顆粒水和剤	2,000倍	前日, 3回
パダンSG水溶剤	1,500～3,000倍	45日, 4回
コテツフロアブル	2,000～4,000倍	14日, 2回
アタブロンSC	4,000倍	14日, 3回
ディアナWDG	5,000～10,000倍	前日, 2回
サムコルフロアブル10	5,000倍	前日, 3回
フェニックスフロアブル	4,000倍	7日, 2回

病害虫防除部 TEL 0463 - 58 - 0333

インターネット <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/>

○ 農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。